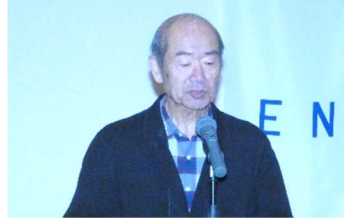


The Engaru Rotary Times 2026-2027 No.11

第 3222 回例会記録 日時: 2026 年 10 月 1 日 (木) 12:30~ 会場: ホテルサンシャイン	本日のプログラム	次回のプログラム
	10 月 15 日 (木) 18:00~ 夜間例会 ～JCとの合同例会～	10 月 22 日 (木) 12:30~ クラブフォーラム ～地区大会の報告～
山本倫生ガバナー地区スローガン	親睦から始まる持続可能な奉仕！～原点回帰・ロータリーを楽しんでいますか？～	
石井朋子会長テーマ	“絆 さらに前へ進めよう”	

セレモニー 国歌斉唱・「奉仕の理想」斉唱
四つのテスト(佐藤直也会員)



会長報告 石井会長

本日も例会への出席ありがとうございます。本日は国際奉仕委員会・佐藤和徳委員長の卓話です。よろしくお願い致します。本日の私の報告は、国際奉仕活動に力を注いだ方のお話をしたいと思います。ロータリーの国際奉仕は、国際間の理解・親睦、平和の推進です。人道支援、発展途上国への支援、国際交流、ポリオなど多くありますが、本日もお話しの方は、茶道裏千家第15代宗家・千宗室さんです。2002年に息子さんへ継承され千玄室と名が変わりましたが、私は20数年前に一度だけお会いし、その日の講演を聞きました。ロータリアンである事は知らず、講演の中で知りました。千さんは本当なら19歳で戦死していたそうです。特攻隊として出兵しますが、飛び立つ時飛行機の不備により飛べず、他の友はすべて戦死をしたため、生涯心の中でつらく重い記憶となり、平和を更に意識されたそうです。そして、33歳の時、ロータリアンの方に会い、ロータリーの考えの素晴らしさを感じてロータリーに入会され、2025年8月に102歳で亡くなられる迄、京都ロータリークラブ会員として69年間国際奉仕に人生を捧げた方です。一人のロータリアンとして茶道家として70ヶ国以上の国で茶の心を伝え、平和親善とロータリーの精神・奉仕の心を広げられました。様々な受賞もされております。「和敬静寂」は茶の言葉ですが、講演の中でもこの言葉を言っておられました。相手を思いやる心、心身の清らかさ、どんな人にも声を掛け手を取り合う人間同士の絆は、小さなものから大きくなっていく。異文化への支援や文化交流を続けられた方です。私自身、この様に人生を送ることは難しいと思いますが、一人のロータリアンとして見習いたく思います。

幹事報告 前島幹事

- ・10月のプログラム
 - 10/1 委員会担当例会(国際奉仕委員会) 10/8 休会
 - 10/15 夜間例会(JCとの合同例会)
 - 10/22 クラブフォーラム(地区大会報告)
 - 10/29 職場訪問(遠軽町役場)
- ・10月の事業など
 - 10/2 防衛講演会 10/3 ロータリー旗争奪中学校野球大会

委員会報告

- 職業奉仕委員会(朝長委員長) 10/29の職場訪問は遠軽町役場庁舎になります。
- 親睦活動委員会(佐竹委員長) 10/15の夜間例会はJCとの合同例会になります。

誕生日: 川村会員、長嶋会員 結婚記念日: 金谷会員、遠藤会員、本間会員、大西会員 祥月命日: 山田会員



- 成田会員 母の葬儀に際にはクラブ・会員の皆様より過分なるお心遣いをいただきました。ありがとうございました。

ポリオ根絶への挑戦

～子供達に病気の無い未来へ～

- 1.ポリオとはどんな病気か？
- 2.ポリオ根絶運動(PolioPlus)の歩み
- 3.現在の状況と「あと少し(End Polio Now)」
- 4.私たちが今、できること



なぜ「最後の0.1%」が難しいのか？

残された課題:

- 地政学的なリスク・紛争地域でのワクチン投与の難しさ
- 衛生環境やインフラが未整備な地域へのアクセス
- ワクチンに対する誤解や拒否感への対策

「撲滅」を止められない理由:

- 今資金や活動をストップすると、10年以内にポリオが再流行し、毎年20万人の子どもたちが再び麻痺を負うリスクがある

4.ビル&メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップ

強力なバックアップ:

- ロータリーが集めるポリオ撲滅基金に対し、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せ (1:2 マッチング)
- (例: ロータリーが500万ドル寄付 → ゲイツ財団が1,000万ドルを追加 → 計1,500万ドルが活用される)

寄付の効率性:

- わずか数ドルの寄付が、複数の子どもたちを一生生涯ポリオから守るワクチンへと変わる

1.ポリオとは

概要: 主に5歳未満の乳幼児が感染するウイルス性疾患

症状:

- 脊髄麻痺を引き起こし、手足の永久的な麻痺や最悪の場合は死亡に至る
- 治療法は存在せず、予防接種(ワクチン)のみが唯一の防御策

2.ロータリーの挑戦: PolioPlus(ポリオプラス)

1979年: フィリピンで600万人の子どもたちへポリオワクチン投与プロジェクトを開始

1985年: 「PolioPlus」プログラムを発足(民間団体による世界規模の予防接種運動の先駆け)

1988年: WHO、UNICEF、CDCとともに「世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)」を立ち上げ

実績:

- これまでに30億人以上の子どもたちにワクチンを投与
- ポリオの症例数を99.9%削減

3.ここまで届いた！

ポリオ根絶の現状

野生型ポリオの常在国: かつての125か国から、現在はわずか2か国(パキスタン・アフガニスタン)へ集約

地域ごとの認定:

- 米州、太平洋(日本含む)、欧州、東南アジア、アフリカ地域がすでに「ポリオ根絶」を宣言。全世界の99.9%を削減

成果: これまでに推定2,000万人以上の麻痺を防ぎ、世界中の家族の未来を守った

私たち

ロータリアンにできること

1.基金への寄付(ポリオプラス基金)

- ポリオデー(10月24日)にあわせた募金活動や個人寄付

2.啓発活動(End Polio Nowの発信)

- 一般の方々へポリオ撲滅の重要性を伝える(イベント出展、SNS、ポスターなど)

3.ロータリアンとしての活動を共有

- ロータリーが世界中で誇る最大級のプロジェクトを次世代へ引き継ぐ

まとめ:歴史をつくるのは、私たち

- 人類が克服した感染症は、これまでの歴史で「天然痘」のみ
- ポリオが根絶されれば、人類史上で2番目の快挙となる
- 「あと少し(End Polio Now)」の支援で、ポリオのない世界を子どもたちにプレゼントしましょう！

■ニコニコBOX

(誕生日) 川村会員 5,000円
(9月誕生日) 成田会員 5,000円
(結婚記念日) 金谷・遠藤・本間・大西会員 各5,000円
(祥月命日) 山田会員 5,000円
(母の葬儀のお礼) 成田会員 10,000円
(トヨタグループ整備コンクール優勝) 宇野会員 3,000円

2026-27年度累計 234,000円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算会員数	出席者数	メイクアップ	出席率	無断欠席
9/24	47	46	31	4	76.1%	0
10/1	47	46	31		67.4%	0

■編集・発行:メディア委員会

委員長:木村一則 副委員長:本間克明

委員:加藤、河原、佐藤健、佐藤好、朝長、長嶋、福家